

TEL 233 340 000  
FAX 224 313 684  
Email jschool@volny.cz

# VLTAVA

## 学校教育目標

「自ら学び自ら考え、幅広い視野をもち、心豊かにたくましく生きる 児童生徒の育成」

## 目指す子ども像

「前向きで明るくかしこい子・思いやりのあるやさしい子・ねばり強くたくましい子」

## 挑戦と自信

校長 齊藤 仁

皆さんは、どんな夏休みを過ごしましたか。家族みんなで旅行をして驚いたり、感動したり、不思議な出会いがあったり、印象的な思い出があったと思います。そんな思い出は、ある晩突然夢の中に出てきたり、だれかと話していると急に思い出したりします。思い出はみんなの心を育てていく大切な養分です。大切に心の中にしまっておいてください。

さて、今日から2学期がスタートです。今自己紹介をしてくれた10名が、プラハ日本人学校の新たな仲間になります。1学期の最後に、3つの出会いの話をしましたが、まず仲間との出会いがあって、そしてチェコとの出会い、そして自分との出会いが続きます。2学期も出会いを大切に、かしこく、やさしく、たくましい児童生徒になっていきましょう。

今日は、チェコという国についてお話をします。北海道よりも少し小さくて、人口は1千万人で神奈川県よりも少し多い感じです。こんな小さな国ですが、独自のチェコ語という言葉をもっており、自分たちの国に誇りを持っています。今年、ヤン・フスという人が、7月6日になくなってから600年目にあたりますが、この人は火あぶりにするぞと言われても自分の信念を曲げませんでした。自分が正しいと信じることを言葉で相手に伝えようとし、自分を殺そうとする人たちを憎むことをしませんでした。

した。この人の教えを受けたヘルチツキーという人は完全な平和主義者で、一切の戦争を認めませんでした。こんな風にチェコの歴史の中には、たくさんの宝物のような人々の話があります。

こんな歴史を持つチェコの人々と、日本の歴史の中で生きてきた私たちとは考え方や感じ方が違うことがあります。そのことに気付いた人がいるかもしれませんが、でも、大切なのは、一見違うように見えても、実は根っこの部分では同じだということです。例えば、一番の違いは、言葉ですね。でも、人間が言葉で伝えようとするものは同じだと思います。みなさんは、チェコという国に住んで、日本の学校で勉強をしています。このふたつの国を結びつけていくために、みんなの勉強があります。二つの国を理解するのはなかなか大変です。時々、言葉や文化の違いで苦勞することがありますね。でも、いつも挑戦しようという気持ち、そして失敗してもへこたれずに自分の可能性に自信をもつことが大切です。挑戦の気持ち、そして自分にはできるぞと信じる気持ち、これは自信とか自尊心って言います。今日は、挑戦と自信という二つの言葉をみんなに覚えておいてほしいなと思います。そうやって、チェコの素晴らしさを、たくさんの人に伝えることが、世界で生きる皆さんの勉強だと思います。

### 転入児童のお知らせ

小学部1年 助川 さん 曾根 さん  
小学部1年 長谷川 さん 野村 さん  
小学部2年 鳥居 さん  
小学部3年 野村 さん  
小学部4年 長谷川 さん  
小学部5年 鳥居 さん  
小学部6年 佐藤 さん 清水 さん

### 防犯工事終了のお知らせ

- ① 学校外周フェンス嵩あげ工事  
学校外周のフェンスを1m嵩あげし、小学部1、2年生教室の窓に侵入防止の飾り格子を取り付けました。
- ② 監視カメラ、モニターの取り換え工事  
監視カメラとモニターを暗い時も鮮明に監視ができるものに取り換えました。

